

JARL

# 倉敷クラブ報

第302号

2012年10月13日(土)



JARL登録 倉敷クラブ(登録番号31-1-1)

クラブ局 JA4YAB

<http://www.jarl.com/ja4yab/>

クラブ代表者 福岡康男 (JA4XZR)

〒710-0043 倉敷市羽島207-1

TEL086-424-9611

## 目 次

はじめに	JH4GNE	1
ハムフェア2012見学記	JA4KI	2
マイカー用補助バッテリー	JA4AOU	6
NEWS		8
お知らせ		9

---

### 次回定例ミーティングのお知らせ

日 時：2012年12月8日（土18時30分～）

場 所：倉敷南公民館（駐車場あり）

次回以降の定例ミーティング 2013年2月9日・4月13日・6月8日

---

### 倉敷クラブの管理するレピータ

JR4WH 439.76MHz（運用責任者：JH4EOO）

JP4YCK 1292.58MHz（運用責任者：JA4AXM）

---

### 倉敷クラブ役員

会長（兼アワード担当）	JA4XZR	クラブ報担当	JA4AJB
副会長（兼会計担当）	JH4GNE	クラブ報担当	JA4AJK
副会長（兼監査担当）	JI4GAU	ミーティング担当	JA4TI
庶務担当	JL4TTY	ミーティング担当	JR4BXK
庶務担当	JE4NHC	ミーティング担当	JG4BCG
アワード・クラブ報担当	JH4EOO	ミーティング担当	JE4OXP
		顧問	JA4KI

---

クラブ報の原稿はミーティングの2週間前迄にクラブ報担当までに持参またはEメールでお願いいたします 原稿の寸法は表紙の外枠（13.5×21.5cm）です クラブ報担当JA4AJB JA4AJK

クラブ報の配付はミーティング当日持ち帰りを原則としております  
ミーティング欠席の場合は代理で受取る方へ依頼されるようお願いいたします

# はじめに

d e JH4GNE

今月号は代表者の福岡さんが病氣療養中のため、かわって書かせていただきます。

先般の6月号、8月号のクラブ報に書かせていただいているクラブ年会費の改正問題ですが、次回の12月の定例ミーティングで話し合っただけで決めさせていたただきたいと思います。

つきましては、12月の定例ミーティングの席において「臨時総会」を開催させていただきたいと思っておりますので、出席出来ない可能性があると思われる方は委任状のはがきにご記入の上11月末日までに到着するようにご投函ください。

## 議題

1. 会費変更
2. その他

---

## お知らせ

**JA4YAB AWARD VIEWS** は、しばらくお休みします

**JARL 記念局情報**も、しばらくお休みします

**JA4YAB AWARD VIEWS** 以外は **JARL MAIL-MAGAZINE** を参考にしてください

今年の9月号のCQ誌 68 ページから、「ハムフェアの歴史を考えてみよう」というサブタイトルで、ハムフェアの歴史が掲載されている。

私は今まで何回もハムフェアを見学しておりながら、ハムフェアについての記録の整理が悪く、困っていたところだったので、このCQ誌の記事は大変役に立って、嬉しく読んだ次第である。そこで、この記事から一部を紹介して、簡単にハムフェアについて振り返っておく。

1977年に、それまで静岡県富士宮市で、全日本ハムベンション実行委員会が主催して開催されていた「全日本ハムベンション」は、主催者がJARLになり、会場を東京都中央区晴海の国際見本市会場に移して、名称を「アマチュア無線フェスティバル」としたのが、現在のハムフェアの始まりで、これが第1回ハムフェアとされているようだ。

1996年には、晴海の国際見本市会場の閉鎖に伴って、開催場所が東京都江東区有明の東京ビッグサイトに変更された。1999年から2001年の3年間は、会場を神奈川県横浜市のパシフィコ横浜に一時的に移したが、2002年からは、元に戻って現在の東京ビッグサイトで開催されている。

第1回から第25回までは、金・土・日の三日間の開催だったが、2002年の第26回からは土・日の二日間の開催になり、現在に至っている。

今年は第36回になるらしいが、私は今までにいつごろから何回見学したかを正確に記憶していない。ただ、ハッキリ記憶に残っているのは、愚息のJR4JAXが小学校4年生の1979年に局免を受けた夏、当時東京晴海の見本市会場で開催された、第3回のハムフェアを愚息と共に見学しており、それからもう34年になるので、途中勤務校が夏の高校野球で甲子園へ行ったりした時は、校務がQRJでハムフェアを見学できなかった年もあったが、それでも相当回数見学しているものと思われる。

今年は、初日の8月25日(土)に見学することにし、その前日の24日に倉敷を出発して、昼前に東京へ着いた。

すぐ中央線の電車に乗り換えて、お茶の水まで行き、今夜宿泊することになっているわれわれの共済事業団のホテルへ行って、クロークへ荷物を預け、レストランで昼食を摂り、その後徒歩で「世界の秋葉原」へ行った。

25日は8時頃ホテルをチェックアウトして東京駅へ出た。私がハムフェアの会場である東京ビッグサイトへ行くのに、一番便利なルートとして毎年利用しているのが、都バスの「東16系統」である。東京駅では八重洲口へ出たが、昨年利用した場所のコインロッカーへ荷物を預けようとしたら、コインロッカーがない。辺りを見回したら、通路の反対側に移っていて、空きのロッカーを見付けて手荷物を預けた。

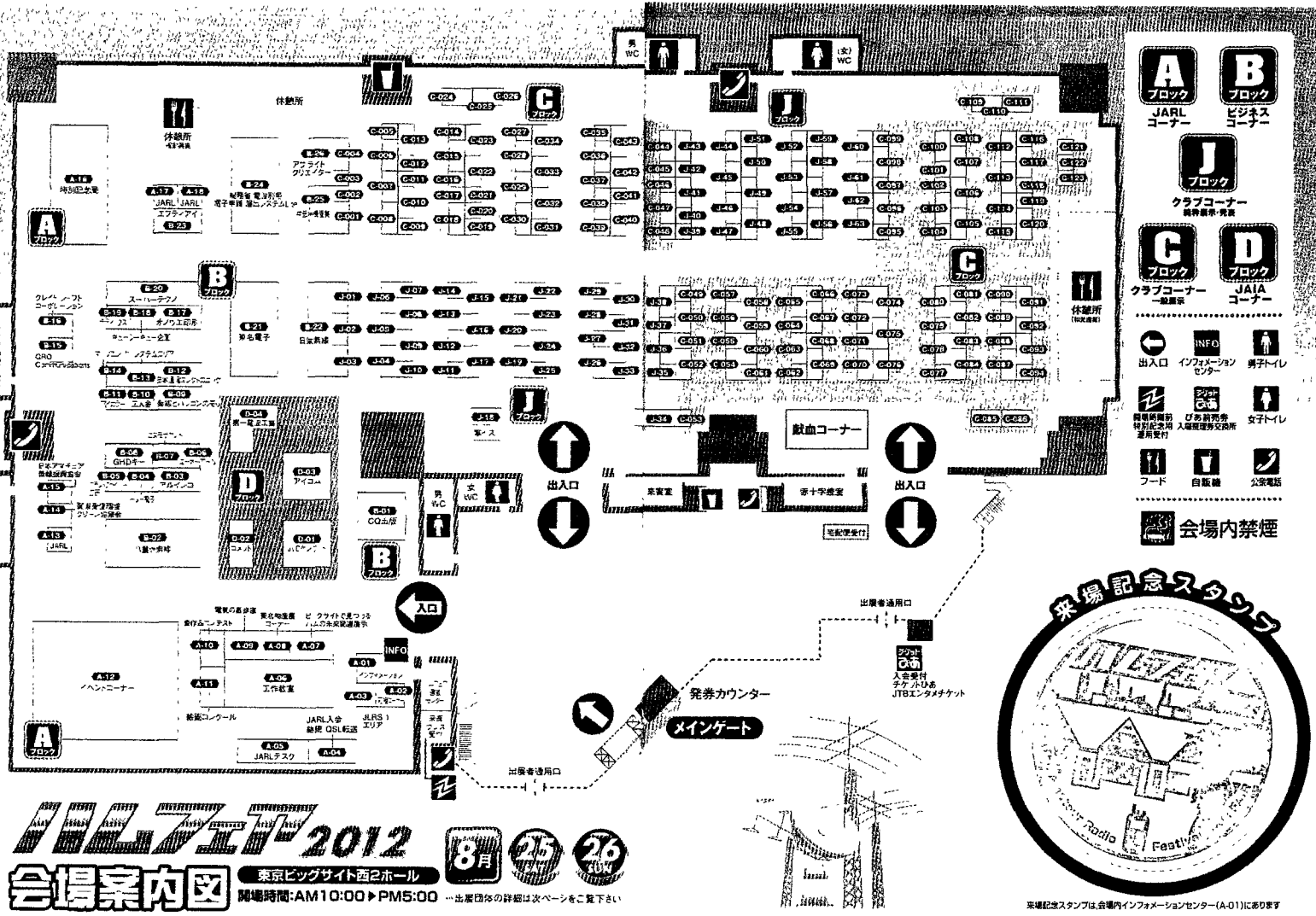
東京駅八重洲南口の都バスのりば①には、8時15分頃に着いたが、行先表示が「東京ビッグサイト」の定期便のバスが待機していたので、そのバスへ乗車した。バスは8時21分の定刻に発車して、終点には9時過ぎに到着した。

会場は、昨年までと同じく、東京ビッグサイト西2ホールで、バスを降りて乗って来たバスの前でバス通りを横断してまっすぐ南へ約100mほど進み、西展示場入り口を入ったところである。

開場まで一時間近くあるのだが、入り口のゲートの前には、既にジグザグに造られた待ち行列に入場する人が並んでいた。

すぐ入場整理券窓口へ行って入場券を入手した。今年の券番は、No.015761だった。入場券の上部には、コールサインと氏名を記入する欄があるが、毎年この記入は、私が悪筆である為に、きれいに書けなくて困るので、今年もテーパーライターで、透明のテープにコールサインなどを打ったものを持ってきて、裏の剥離紙をはがして、入場券のコールサインなどの記入欄へ貼った。

10時近くになり、入場ゲートで開会式の準備が始まった。いつものように、西展示場へ入るためのアトリウムを取り巻いている二階のギャラリーから、アトリウムを俯瞰する様に写真を撮ろうとしたが、今年は工事でギャラリーに立ち入れなくなっていたので、仕方なく少しでも高い位置から写真を撮ろうと、二階の通路からアトリウムへ降りて入るためのエスカレーターへ乗って、入場



# JAL EXPO 2012

## 会場案内図

東京ビッグサイト西2ホール  
 開催時間: AM10:00 ▶ PMS:00  
 ...出展団体の詳細は次ページをご覧ください



来場記念スタンプは、会場内インフォメーションセンター(A-01)にあります

券の発券カウンターの待ち行列、アトリウムに並んでいる入場者の待ち行列、ハムフェア会場のゲートの様子などを写真に撮った。

開会式が始まる様子が見えたので、今度は開会式が行われるメインゲート近くへ移動してカメラを構えて開会式を待った。

開会式が始まり、まず J A 5 M G J A R L 会長から主催者挨拶があり、来賓の紹介の後 J A 5 M G 会長、J A I A の相神一裕会長、韓国 K A R L の D S 5 X C W 会長、インド A R S I のゴパル・マドハバン会長、アメリカ A R R L の W 3 I Z の各氏によってテープカットが行われ、オープンした。

10 時少し前から入場が始まったが、当日はアトリウムを挟んで反対側の西 1 ホールで、韓国の 6 人組男性歌手グループ「BOYFRIEND」の、日本デビューを記念しての、日本初のハイタッチ会が行われることになっており、アトリウムをハムフェアのみで使うことができなかった模様で、入場待ちの行列は、西ホールの入り口を出て、100m 位先の都バスの降車場所の辺りまで続いた。

少し待って、入場者の行列が短くなって、折り返しの数が少なくなったところで行列に並び入場しようと待っていたら、岡山からのハムにお会いした。

入場の際にガイドブックをもらったが、先ほど見たところでは、入場のための待ち行列に並んでいた多くの人がガイドブックを持っていたので、どこかで入場前にガイドブックが配られたらしい。

展示フロアへ入ってすぐインフォメーションへ行き、ガイドブックの 3 ページに来場記念のスタンプを押した。

JARL Web によると、初日の 8 月 25 日(土)の入場者は、22,000 名(昨年比 + 1,000 名)、二日目の 26 日(日)の入場者は 11,000 名(昨年同数)、延べ合計 33,000 名で昨年に比べて 1,000 名増だった様だが、実際は、一時は身動きが出来にくいほど混んで、もっと入場者数が多かったような気がした。二日目の入場者数はいつも少なく、ゆっくりと見学したいのならば、二日目がおすすめである。

ガイドブックによれば、ハムフェア 2012 は、5 つのコーナーに分けられている。

A ブロックは JARL コーナーで、A-01 から A-18 まで 18 のコーナーがある(昨年より 2 多い)。A-12 のイベントコーナーでは、二日間にわたって、11 時から 16 時頃まで、プログラムに従って、10 のイベントが行われる。

B ブロックはビジネスコーナーで、B-01 から B-26 まで 26 のコーナーがある(昨年より 6 多い)。

C ブロックはクラブ(一般展示)コーナーで、C-001 から C-123 まで 123 のコーナーがある(昨年より 7 多い)。

J ブロックはクラブ(純粋展示・発表)コーナーで、J-01 から J-63 まで 63 のコーナーがある(昨年より 1 多い)。

D ブロックは J A I A コーナーで、D-01 から D-04 まで、J A I A の 12 社の中から 4 社が出展している(昨年と同じ)。

他に、フードコーナーとして、飲食物を販売する会社が 2 社(昨年と同じ)と、宅配便を扱ってくれる運送業者が 1 社入っているはずである。

一昨年まで行われていた、日本無線協会の当日受験申請を受付けて試験が実施され、即日結果発表される、第三級・第四級アマチュア無線技士臨時国家試験は、久しぶりに今年から復活して、初日の 8 月 25 日(土)に、ビッグサイトの会議棟で行われた。全受験者数は 294 名で、三級は 94 名受験して 70 名が、四級は 200 名が受験して 115 名が合格した。

B ブロックのビジネスコーナーの Y A E S U のブースへ行った。ここには、J H 4 J Q C さんの息子さんの J E 4 H B P / J A I A G S さんがおられ、元気なお姿を発見して挨拶を交わしたが、彼は私のために胸につけるコールサインの入ったプレートを作ってくれていて、ありがたく頂いて胸につけることにしたが、胸に止める安全ピンが無くて困っていたところへ、倉敷クラブのメンバーが通りかかって、安全ピンを下さり入場券の下に止めた。しかしこのプレートを着けていたら、2 名の人から Y A E S U の説明員と間違われて、質問される羽目になったので、間違ったことを答えて Y A E S U に迷惑が掛かっては N G と、残念ながらして外した。

関東受信環境クリーン協議会のブースでは、埼玉県の民放テレビ局の A 4 版のクリアーホルダーに、受信環境のことを解説したリーフレットと、NHK を

含む放送局の、いろいろなリーフレットが挟んである物をくれた。

JARDのブースでは、布に濃赤にコーティングされた縦34×横24cmの側面と底に襜のついている提げ袋、アマチュアバンドの使用区分図が書いてあるA4版の下敷き、初級アマチュア無線技士の養成講習会のリーフレットなどをくれた。この提げ袋は、各ブースを回ってカタログやリーフレット類を貰って入れるのに大変重宝した。

次にDブロックのJAI Aコーナーを見たが、いつものごとく、詳しく見ると悪い虫が起こりそうなので、見たのか見てないのか分からない様な見方 hiをしながら、各ブースを写真に撮ったり、カタログを貰ったりした。

JARLコーナーへ行って、QSLカード転送を依頼した。イベントコーナー側には、絵画コンクールと、自作品コンテストの入賞作品が展示されていた。

Jブロックのクラブコーナーの純粹展示・発表コーナーでは、我が母校の明治大学高周波のブースへ行って、置いてあったノートへ記名した。ブースの中には、後輩の卒業生のJL1LNCさんがいたので、彼にカメラを預けて、私がブースの中に入っているところを写真に撮ってもらった。

Aブロックの一番奥にあたる場所にある特別記念局の8J1Aとは、先ほどYAESUのブースでお目に掛かったクラブ員に助けられて、短時間の内に、私が持って行ったV・UHF FMハンディートランシーバーで、430MHz・1200MHzの二バンドのFMで、J4KI/1とJA1BRP/1でQSOすることができた。私の前には、その倉敷クラブのメンバーの方がQSOした。144MHzは、SSBでの運用だったので、残念ながら私のトランシーバーでは、QSOすることができなかった。

Bブロックを見て回ったが、必要なものは見つからなかった。

総務省電波利用電子申請・届け出システムのブースでは、電子申請のPRをしていて、私は既に利用登録を済ませていることを話したら、アンケートに答えてほしいと言われ、案内された記入場所でアンケートに記入した。記入が終わってしばらく待たされて、アンケートの用紙を提出したら、孫が喜んでいرونなどころへ貼りそうな、A5の台紙に、私の局の免許の有効期限の年月日と、コールサインが入っているシールがついているものをくれた。

12時近くになるとレストランがQRMになるので、早めに食事に行くことにして会場を出た。会場入り口横の入場券の窓口には、朝と同じようにまだ長い行列が続いていた。アトリウムの東側を見ると、ハイタッチ会に来たものすごい数の若い女性が何列にもなって、並んでいた。

会場のすぐ前にあるレストランのニュー・トーキョーへ行ったら、多くの人が行列を作っていて、その待ち行列に並び、しばらく待って食事をするのができた。食事中に、次第に混んできて、席が次々と埋まっていった。

見残しているCブロックとJブロックのクラブコーナーは、ブースを一つ一つのぞき込んで歩いた。ブースでは、毎年のごとく、展示されているジャンクを手にとって、いろいろなものを尋ねたり値引き交渉をしたり、ブースのメンバーが作って販売しているものを買ったり、ただ展示されているものを見たり、ブースのメンバーとアイボールQSOを楽しんだり、ブースが行っている抽選会に参加したり等々という具合に、入場者はそれぞれが多様な楽しみ方を満喫していたが、人気のブースでは、入場者が多いために、前の人の肩越しにのぞき込まねばならないところがかかりあった。

その後毎年のごとく全部のブースを、ブースの番号順に、ブースが3～4宛まとまっているパネル単位で写真に撮った。

今年も会場内で多くの方々とお話しすることができて、VY嬉しかった。

帰りの時間が近くなったので、明治大学高周波のブースの後輩と、YAESUのブースのJE4HBP/JA1AGSさんに挨拶して、満足感の余韻を楽しみながら、会場を出てバス停へ向かった。

朝とは逆のルートで、東京ビッグサイト13時14分発の定期バスに乗って、東京駅八重洲口へ戻り、新幹線に乗り、岡山へは19時17分に到着した。倉敷駅からは、駅地下駐輪場へ置いていた自転車で帰宅した。

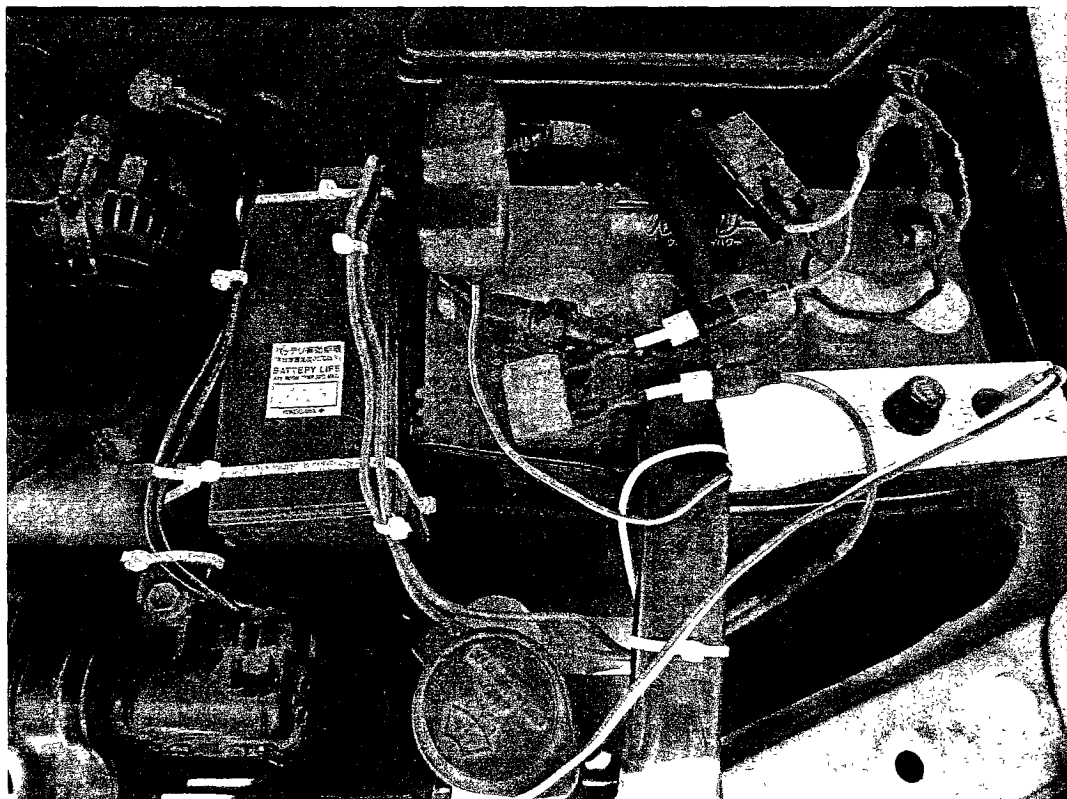
来年は、8月24日(土)～25日(日)に、今年と同じく東京ビッグサイト西2展示ホールで開催される予定になっているので、来年も是非見学したいと思っている。

# マイカー用補助バッテリー

JA4AOU 水川満祥

マイカー用 DC12V の鉛バッテリーは車を動かすための部品でバッテリー容量は適正な容量で、通常 40AH ~60AH です。 通常の使用には十分耐えられますが、アマチュア無線の移動運用で長時間使用するにはエンジンを回して常に充電しながら使用しないと、バッテリーがあがってしまいます。これでは、移動運用終了時にセルモータが回らず、JAF を呼んだり、別の車からブースターケーブルでバッテリーを充電したりで大変なこととなります。これらのお世話なく、快適に移動運用で使用するため、補助バッテリーを取り付け、電流容量を強化しました。 補助バッテリーは DC12V 7.2AH のシール型を 2 個並列に接続し、約 15AH の容量 UP です。さらに DC12V 7.2AH 4 個をトランクルームに取り付け合計約 45AH の UP で、移動運用の時、この補助バッテリーを使用します。移動運用時にエンジンを回さなくてよく、非常に経済的で燃費低下にはなりません。メインバッテリーと切り離して利用できますので、移動運用で使い切ってもメインバッテリーは十分容量が残っているのでセルモータは回ります。この補助バッテリーは運転席の SW でメインバッテリーと切り離したり、並列に接続できたりできます。 移動運用時にはメインバッテリーと切り離して補助バッテリーを使用します。エンジン始動後、通常は SW を ON として補助バッテリーとメインバッテリーを接続し、常にフル充電しておきます。 走行時 SW ON で走行充電が可能です。

## 補助バッテリー取り付け部分





## トラブル時の点検方法

1. 赤色 LED が消灯の場合 → 補助バッテリーから電圧がきていません。20A フューズ断線...交換  
赤色 LED は通常では常時点灯
2. 緑色 LED が消灯の場合 → 補助バッテリー SW が OFF SW ON で緑色 LED 点灯

### \*\*\*\*\* 操作方法 \*\*\*\*\*

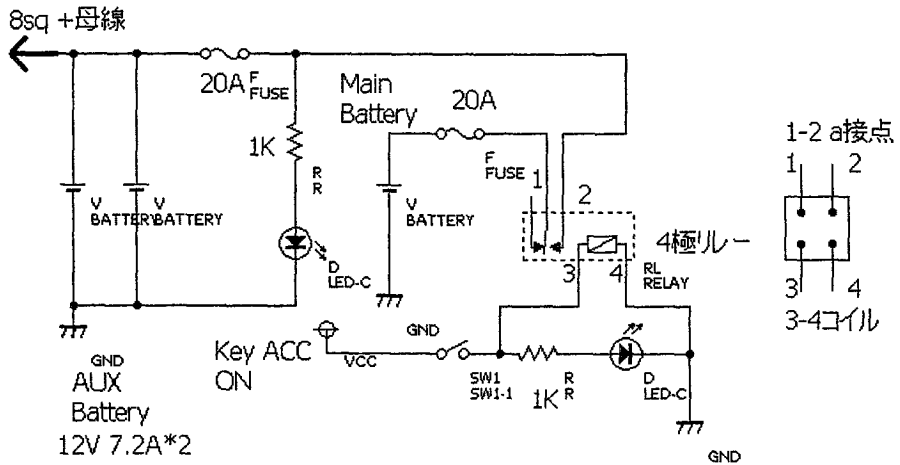
通常は補助バッテリーSW OFF 補助バッテリー使用時に SW ON

補助バッテリーSW ON のままでもエンジンキーOFF で、補助バッテリーは接続されません。

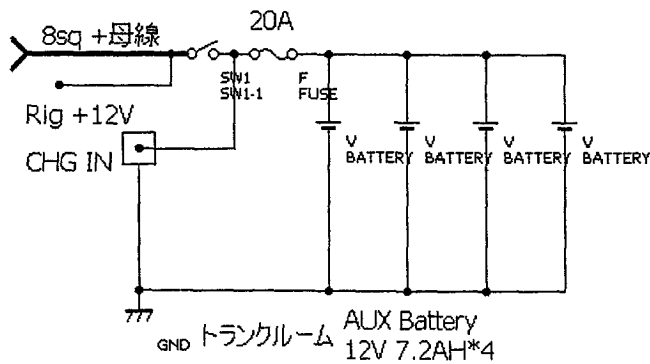
走行時補助バッテリーSW ON で走行時補助バッテリーに充電可能

補助バッテリーの電圧が正常な時、赤色 LED は常時点灯 気になるときは補助バッテリー用フューズ 20A を抜くと赤 LED は消灯。

### \*\*\*\*\* 配線図 \*\*\*\*\*



### \*\*\*\*\* トランクルーム配線図 \*\*\*\*\*



# N E W S

## ◎ 大規模津波防災総合訓練実施される

9月2日(日)9時から、国土交通大臣、岡山県知事、岡山市長などが出席して、国土交通省、岡山県、岡山市の主催による、南海トラフを震源域とするM9.0の巨大地震により、岡山県内で震度6強を観測し、岡山県南部で地盤の液状化、土砂崩れ、家屋倒壊、建物火災、ライフラインの途絶等が発生し、さらに、岡山県沿岸部に3~5mの津波が来襲し、港湾・海岸・河川等の施設被害が発生したとの想定による、大規模津波防災総合訓練が、官民の97機関が参加して、岡山市南区の岡山港で実施されました。

JARL岡山県支部では、これに参加して、アマチュア無線による情報収集訓練を実施し、①430MHz帯FMによる玉野市内の移動局との被害情報の通信訓練 ②APRSのデモンストレーション ③2.4GHz帯アマチュアTVによる映像伝送訓練などを行いました。

その訓練の様子の殆どは、交信音声会場に流されるとともに、大勢の来賓や見学者の前に停められているトラックの荷台一杯に設置された大型ディスプレイに映し出されました。

当クラブからは、JARL岡山県支部(以下「JARL岡山県」を省略)顧問・JA4KI(訓練見学)、支部役員・JG4BCG(アマチュアTV)の両氏が参加し、他に支部長・JH4TYE(総括)、支部役員・JA4TUI(会場テント内)、支部顧問・JA4WSH(〃)、支部役員・JH4LPY(記録広報用写真、テント内アナウンス)、支部役員・JH4MZU(会場テント内)、支部役員・JR4XEY(通信運用)、JI4UMT(玉野市内での移動局運用)、支部役員・JI4VSH(アマチュアTV)、支部役員・JJ4GHB(会場テント内)(以上支部長を除き、コールサイン順に記載)の各氏によって実施されました。

開催前に会場へ通じる道路の至近の交差点内に、屋根の上の沢山のスピーカーから、内容不明の音楽が流されたまま放置された右翼の街宣車が停車したままになっていて、通行が不自由になって、来賓や見学者が遅刻するハプニングがあったり、好天で大変な暑さのために、支部関係者の中には途中熱中症の症状を訴える参加者が出たりで、参加者はいろいろとご苦労なさったようですが、12時半少し前には訓練は無事終了しました。

くわしくは、JARL岡山県支部のホームページをご覧ください。

## ◎ 今月は受信環境クリーン月間です

受信環境クリーン中央協議会は、毎年10月1日から10月31日迄を「受信環境クリーン月間」と定めて、全国各地で、放送電波の受信障害の防止に向けた幅広い活動を展開しており、この月間中は、受信環境保護に関する幅広い周知・広報活動が積極的に実施されます。

現在はTVがデジタル化されて、受信障害は、以前に比べてずいぶんと少なくなりましたが、CATV各社では、デジタル化されていない受信者へのサービスとして、当分の間、デジタル化されている放送波を受信してアナログに変換し、以前のアナログ放送のときのチャンネルをそのまま使って再放送する「デジアナ変換」のサービスが行われていますから、注意が必要です。

アマチュア無線が放送の受信に支障を与えるときは、アマチュア局は電波を発射してはいけません。原因を調べて、放送の受信に支障を与えないように措置すれば、発射可能です。

# お知らせ

## ◎ アマチュア無線技士国家試験

今月は、12月期の各級アマチュア無線技士国家試験の受験申請書の受付が行われます。

来月は、11月期の第三級・第四級アマチュア無線技士の国家試験が実施され、来年1月期に実施される第三級・第四級アマチュア無線技士国家試験の受験申請書の受付が行われます。

### ・第一級・第二級アマチュア無線技士

試験地	一・二級共に	大阪市、広島市、松山市など全国11都市
試験期	第一級アマチュア無線技士	2012年12月8日(土)
	第二級アマチュア無線技士	12月9日(日)
試験科目及び試験開始時刻	一・二級共に	法規 09:30 無線工学 13:00

試験日時は、試験施行の都合により変更されることがありますので、申請後に協会から送付された受験票で確認してください。

申請書の受付は、一・二級共に10月1日(月)から22日(月)までで、消印有効です。

### ・第三級・第四級アマチュア無線技士

近隣試験地の試験期	三・四級共に	大阪	2012年11月11日(日)
			12月9日(日)
			2013年1月20日(日)
		広島	2012年11月11日(日)
			2013年1月20日(日)
		松山	2012年11月4日(日)

試験科目 法規と無線工学(同時実施)

試験開始時刻 三級アマ技士 13:00

四級アマ技士 10:30と13:30の2回

各受験者の試験開始時刻は、申請後に協会から送付される受験票に記載されて通知されますので、受験票で確認してください。

申請書の受付期間

2012年11月期までのものは、既に先月までに終わっています。

12月期のものは10月1日(月)~22日(月)

2013年1月期のものは11月1日(木)~20日(火)で

いずれも消印有効です。

本年度実施される、総ての級のアマチュア無線技士の国家試験の予定については、本誌4月号の巻末に、アマチュア無線技士試験案内を掲載してありますので、必要に応じてご覧下さい。

## ◎ JARLのアンテナ第三者賠償責任保険の受付が始まります

JARL NEWS秋号に、JARLのアンテナ第三者賠償責任保険についての案内が出ています。

この保険は、JARLが団体として保険会社と契約して募集される保険で、JARL会員だけが受けられる特権です。

保険金額は、個人で加入するよりは、ずいぶんと割安になっています。

募集期間が限られていますので、JARL NEWSを良くご覧になって、申し込み忘れの無いように加入しましょう。